NOTICIAS DE S. PAULO

(1) No. 1.809 (Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil) 3a Feira, 14 de Março de 1939

聖市アッセンプレア街五四番地
郵函二七六五
發行所 聖州新報社
發行人 香山六郎
購讀料 一年六〇錢
廣告料 一段七二錢

NOTICIAS DE SÃO PAULO
Caixa, 2705 — Fone, 2-5655
R. ASSEMBLÉA, 54
S. Paulo — Brasil

聖市新報

租界の肅清徹底を期し 工部局に嚴重抗議す

上海特別市政府當局强硬

（上海十二日）上海特別市政府當局ではかねて對租界問題につき協議をすめてゐたが十日附書簡の形式を以て共同租界參事會議長フランクリン氏宛て左の五項目よりなる嚴重な申入れを行つた

一、租界內戶口に調査による警備の强化
二、越海路上市政府警察出張所復活
三、租界內地方法院の接收
四、市政府土地台帳の返還
五、青天白日旗揭揚の禁止

右抗議提出により租界問題は更に一段の發展を予想されるに至つた、なほこれと同時にフランス租界工部局に對しても同樣租界內戶口調査による警視の强化、租界地方法院の接收、青天白日旗揭揚禁止の三項目を要求する膠漆なる申し入れを行つた

青天白日旗揭揚 租界當局强制禁止

（上海十二日）佛租界當局は十二日突如同租界內における青天白日旗揭揚禁止の命令を發し右命令に反する者に對しては租界警察をして强制的に斷行したものと見られ、これが引下ろしをなさしめたこれが租界令國の擧に出る我現地當局及び維新政府當局の意向を容れて斷行したものと見られ、その行爲に對して我が方は好感をもつてこれを迎へてゐる

建國精神に立脚し 內外の刷新計れ

臨時軍事費豫算會議終幕

（東京十三日）貴族院豫算會議は午前九時開會、勞頭臨時軍事費上提案につき渡邊千冬氏は豫算委員會の經過報告に武富時敏氏（同成）政府は長期建設を提唱してゐるがそれには內政の整備こそ第一つき報告をなし討論に入り義であつてこれがためには國本の大精神を明らかにせねばならぬ、外政の素は內政にあり、軍事を全ふするためには文治をおろそかにしてはならぬ、政府はよろしく擧國の大精神に立脚して內政刷新の實をあげねばならぬ、現內閣が組閣にあたり近衞公を無任所相として內閣に列せしめたことは內閣に信賴し皇軍に感謝しつゝ本豫算案に贊成するものである

次いで岩倉俱道男（公正）富國强兵とは即ち士農工商協力する擧國一致態勢の謂である、この臨時軍事費豫算を實行するにあたり政府はよろしく國內の大精神を立脚して內政刷新の實をあげねばならぬ、現內閣が組閣にあたり近衞公を無任所相として內閣に列せしめたことは內閣に信賴し皇軍に感謝しつゝ本豫算案に贊成するものである

次いで岩倉俱道男（公正）富國强兵とは即ち士農工商協力する擧國一致態勢の謂である、この臨時軍事費豫算を實行するにあたり政府はみたがいよ〳〵右計畫を全的に實施するに決定、生產力擴充委員會を設置することになり三日官報を以て同委員會の規定を公布した、右委員會は生產擴充計畫の實施に關する重要事項を調査審議し、あはせてこれに關聯する各省事務の調整統一を計るもので會長は青木企劃院總裁、幹事長には植村企劃院產業部長がそれぞれ任命され、委員四十一名が政府當局では國內產業生產の擴充を計るためさきに生產計畫を樹立、閣議決定をへてゐるが、今回の臨時軍費豫算の成立とともに、これを全的に實施するに決定、生產力擴充計畫は多角的な面を持ち人を使ふ場合にはそれ〳〵の特徵に應じて使ひ、使はれる者は宇佐美の腹心だと自惚れてゐるあに測らんや宇佐美氏自身は貴人の特徵を生かすため敢て人に見せてゐない、彼を知る人はいふ。かゝる方法は一見愚劣のように見えるが、一面人使ひが上手だとへるのである

生產力擴充委員會

閣議で決定、いよいよ實施

（東京十三日）かねてよりの懸案である生產力擴充委員會の發表をみ近く第一會々議を開催の予定である

鐵石の意思

滿鐵北支總局長 宇佐美寬爾氏

宇佐美寬爾氏は北支交通會社が設立されると、その社長になることに內定を見てゐるが現在は滿鐵顧問として北支交通會社設立に奔走してゐる。彼に對する世評は毀譽褒貶相半ばしてゐる。彼に對する不評は彼の性格に原因してゐる、頗る意志の强い男で思つたことは必ず通すしかもそれが斷行式にやるので、何となく陰謀でもたくらんでゐるのではないかといふような印象を人に與へる。しかし、決して陰謀をたくらむのではなく、陰性は彼の性質がきつい風に人に感ぜしめるのである。彼の趣味は日本刀と犬で、刀劍を集めると左遷される一原因となつたとさへいはれてゐる

明治十七年生、岐阜縣の產で四十四年東大政治科卒業後鐵道病院に入り門鐵在任中何かしくじりをやつて辭し中島鑛業會社に轉じ營業部長になつたが、當時滿鐵鐵道部長の大藏公望氏が彼の才幹を惜しんで滿鐵に引張つたがハルビン事務所長時代はやゝ不遇であつたが當時東支、ウスリー兩鐵道との連絡問題に關する困難なる折衝をよく捌いて難局を打開し、さらに滿洲事變當時軍の北滿進出に協力し事變後奉天事務所長となつて軍關係との連絡に遺憾なく、その後累進して昭和八年鐵道總務局長に昇進し滿鐵理事を兼ね昭和十年北鐵接收に當つては滿鐵代表として偉大なる功績を殘し、またかねての抱負たる全滿鐵道の一元的經營の實現あるひは滿洲事變後の北寧鐵路との連絡問題に對して手腕を發揮する等滿鐵在任中の功績は顯著なるものがあるが、彼が在任中鐵道部內に宇佐美閥を形成し、宇佐美閥にあらずんば鐵道部人にあらずとへはれるほどの勢力を築き上げこの點が彼に對する批評的となつてゐる。しかし彼は多角的な面を持ち人を使ふ場合にはそれ〳〵の特徵に應じて使ひ、使はれる者は宇佐美の腹心だと自惚れてゐるあに測らんや宇佐美氏自身は貴人の特徵を生かすため敢て人に見せてゐない、彼を知る人はいふ。かゝる方法は一見愚劣のように見えるが、一面人使ひが上手だとへるのである

彼が在任中鐵道部內に宇佐美閥を形成し、宇佐美閥にあらずんば鐵道部人にあらずとへはれるほどの勢力を築き上げこの點が彼に對する批評的となつてゐる。しかし彼は多角的な面を持ち人を使ふ場合にはそれ〳〵の特徵に應じて使ひ、使はれる者は宇佐美の腹心だと自惚れてゐるあに測らんや宇佐美氏自身は貴人の特徵を生かすため敢て人に見せてゐない、彼を知る人はいふ。かゝる方法は一見愚劣のように見えるが、一面人使ひが上手だとへるのである

彼が貴人の意思の人であるといふことは既に學生時代からそのこゝろ強い男で思つたことは必ず通すしかもそれが斷行式にやるので、何となく陰謀でもたくらんでゐるのではないかといふような印象を人に與へるしかし、決して陰謀をたくらむのではなく、陰性は彼の性質がきつい風に人に感ぜしめるのである。彼の趣味は日本刀と犬で、刀劍を集めると左遷される一原因となつたとさへいはれてゐる

彼は滿鐵顧問として北支交通會社設立に奔走してゐる。彼に對する世評は毀譽褒貶相半ばしてゐる。彼に對する不評は彼の性格に原因してゐる、頗る意志の强い男で思つたことは必ず通すしかもそれが斷行式にやるので、何となく陰謀でもたくらんでゐるのではないかといふような印象を人に與へるしかし、決して陰謀をたくらむのではなく、陰性は彼の性質がきつい風に人に感ぜしめるのである。彼の趣味は日本刀と犬で、刀劍を集めると左遷される一原因となつたとさへいはれてゐる

現在は滿鐵顧問として北支交通會社設立に奔走してゐる。彼に對する世評は毀譽褒貶相半ばしてゐる。彼に對する不評は彼の性格に原因してゐる、頗る意志の强い男で思つたことは必ず通すしかもそれが斷行式にやるので、何となく陰謀でもたくらんでゐるのではないかといふような印象を人に與へるしかし、決して陰謀をたくらむのではなく、陰性は彼の性質がきつい風に人に感ぜしめるのである。彼の趣味は日本刀と犬で、刀劍を集めると左遷される一原因となつたとさへいはれてゐる

明治十七年生、岐阜縣の產で四十四年東大政治科卒業後鐵道病院に入り門鐵在任中何かしくじりをやつて辭し中島鑛業會社に轉じ營業部長になつたが、當時滿鐵鐵道部長の大藏公望氏が彼の才幹を惜しんで滿鐵に引張つたがハルビン事務所長時代はやゝ不遇であつたが當時東支、ウスリー兩鐵道との連絡問題に關する困難なる折衝をよく捌いて難局を打開し、さらに滿洲事變當時軍の北滿進出に協力し事變後奉天事務所長となつて軍關係との連絡に遺憾なく、その後累進して昭和八年鐵道總務局長に昇進し滿鐵理事を兼ね昭和十年北鐵接收に當つては滿鐵代表として偉大なる功績を殘し、またかねての抱負たる全滿鐵道の一元的經營の實現あるひは滿洲事變後の北寧鐵路との連絡問題に對して手腕を發揮する等滿鐵在任中の功績は顯著なるものがあるが、彼が在任中鐵道部內に宇佐美閥を形成し、宇佐美閥にあらずんば鐵道部人にあらずとへはれるほどの勢力を築き上げこの點が彼に對する批評的となつてゐる。しかし彼は多角的な面を持ち人を使ふ場合にはそれ〳〵の特徵に應じて使ひ、使はれる者は宇佐美の腹心だと自惚れてゐるあに測らんや宇佐美氏自身は貴人の特徵を生かすため敢て人に見せてゐない、彼を知る人はいふ。かゝる方法は一見愚劣のように見えるが、一面人使ひが上手だとへるのである

彼が貴人の意思の人であるといふことは既に學生時代からそのこゝろ強

自國權益の侵害を恐れ スロバキア獨立に反對

破壞的分子は斷然排擊 ベック、洪國外相上院で表明

（ワルシヤワ十二日）ポーランド政府はスロバキアの獨立がポーランドの存立に重大な關係があるものとしてその成行を重視してゐるが、ベック外相は十一日上院において外交演說を行ひ「スロバキアの獨立に反對一の意嚮を表明しポーランド政府の方針を明らかにした、演說要旨左の通り

チエツコスロバキアがポーランド破壞的分子に保護を與へることは同意し難い、ポーランド政府はかかる援助をなさざるやう警告するものである、ポーランドはスロバキアが政治上自主的役目をなす機會が與へらるべきだと考へてゐる、ルチニア地方は歷史的經濟的に見て大體同地方民が國家の觀念の薄れてゐる點から見ても當然ハンガリーに歸屬すべきものである、ウクライナを占領せんとするポーランド、ソ聯間の契約期間問題とはヂヤナーリズム宣傳で今いづれの國にも公然たる行動は執つておらずまた權威ある聲明もなされてはなく問題とはならない、なほ對ソ關係は相互權益を尊重する善隣政策にありソ聯を遠く離る國と異なり絕對不變のこの提携は不可侵條約に現はれてゐる

戰傷勇士の教員養成案

傷兵保護院の畫期的計畫

（東京十三日）厚生省傷兵保護院では今回名譽の戰傷い軍や中等學校へ優先的に任命する人の中から特に希望者を募つて小學校並びに中等學校の教師を養成した上全國の小學校へ送り共に戰傷い軍人教師として生徒に皇軍精神を鼓吹し併せて傷い軍人更生後の經濟的保護に當る劃期的な改革を樹立した、此の計畫は目下傷兵保護院業務局と文部省當局との間で實行方法や教師としての優遇方法その他交涉中で大體戰傷勇士の中から專門學校出は高等師範の聽講生として編入、二ケ年間或る科目を專攻させ中等學校の教諭に採用又中等學校出は師範學校で一ケ年間の速成教育をほどこした後正科訓導として採用しやうと云ふ目論みである、厚生省では準備が整ひ次第文部省當局によつて行はれる師範學校教育關係の勅令改正を待ち戰傷い軍人教育に關する規定を設け直ちに志願者を募集し新年度から實施に決定してゐる、傷兵保護院團傷い軍人の教師養成案は文部當局とも協議の上九月から實施することになるだらう、名譽の戰傷勇士が學校の先生になつて第二國民の教育に當ることは眞に意義深い事であると陸海軍本部でも大賛成だ

軍艦「榛名」の模型

ル國海軍大臣に贈呈

（東京十三日）午后一時半海軍省大臣室で海相代理として山本次官がルーマニア公使館附陸海空軍武官、ラドレスコ大佐に、軍艦榛名の素晴らしい模型を贈つた、この模型は同大佐を通じ眞價のあらはれ術、文學、政治、經濟、軍事等の書籍資料を購入しこの際大佐は世界に勝れた建艦技術を有する日本海軍の軍艦の模型をわが海軍省に求めて居たので海軍省では同大佐の希望に添ふやうそして日本博物館を飾るにふさはしい立派な軍艦として榛名の模型を送ることとなつたものである

英國極東聯合艦隊

海軍大演習擧行

參加艦艇二十五隻

（シンガポール十三日TO）十三日當地に達した確實なる情報によれば英國東印度艦隊は支那艦隊の一部と今週初め聯合海軍大演習を擧行のため目下支那艦隊所屬巡洋艦二隻の當地入港を待つてゐる、此海軍大演習參加の艦艇は總計二十五隻、尙航空母艦イーグル號はシンガポール要塞を空襲する假定のもとに活躍することになつてゐる、この大演習終了後兩軍の最高指揮官即ち東印度艦隊司令長官サマービル副提督と支那艦隊司令長官バーシー、ノーベル副提督はシンガポールの攻防作戰につき愼重協議をとげるはずである

歐洲政局安定を口實に

世界平和會議を劃策

チ英首相の計畫注目さる

（ロンドン十二日）イタリアの領土要求をめぐる佛伊兩國の相剋對立激化によつて政局は再び緊迫をつげるに至つたが伊國はあく迄打開の希望をすてず第三者としてこれに當りつつあるチユンバレン英首相は佛伊關係の好轉のみならず進んで歐洲に低迷する暗雲一掃の後世界平和會議召集を計畫してゐる旨を報じ時節柄頗る注目された、右報道要旨左の通り

英首相は平和再建のため目下ロンドンに世界平和會議を召集する計畫を考慮中で更に平和會議に續いて世界軍縮會議をも召集する肚であると云はれる、次問するにルーズベルト米國大統領は既にチエンバレン首相の平和建設に全幅の支持を與へたいはれ、チエンバレン首相の抱懷する世界平和再建法策は左の如く包括的なものである

一、まづ佛伊兩國がそれぞれスペインとの政情關係を確立するを待ち佛伊兩國の對立解決に乘り出す

一、次で西歐諸國間に一般

全く時期尙早

フランス官邊否定

（パリー十二日）チエンバレン首相は歐洲に低迷する暗雲を一掃のため世界平和會議の召集を企圖してゐるとの週刊紙サンデー・イヴニングスバッチの報道は十二日直ちにパリーに傳へられたが、フランス官邊はかかる事實は全く聞知しないとしてあまり問題にしてない

政界方面でも獨伊兩國が何らか和協的態度を示してゐない以上現在平和會議の首唱の如きは全く時期尙早であるとの氣配が有力である、殊に最近フランス政府が駐獨クーロンドル大使を通じてドイツ政府に對し新サデエツ國境の不安定に鑑みミユンヘン協定によつて規定された國境保障を實施すべきである旨注意を喚起したのに對しドイツ側はさる九日これを眞面目に拒否する旨回答した事實もあり、かかる緊張氣味の中で平和會議を開いても全く無駄であるとの氣配が有力である

市民空爆禁止及び空軍擴張競爭停止に乘りだす

右派の不信任案通過で ボース議長失脚

ガンヂーの地保强化

（ボンベイ十二日）ベンガル州トリプラに開會中の印度國民會議派年次大會は十二日前日ボース議長に對しガンヂー一派の右派から提出された不信任案に對する左派の修正動議を壓倒的多數を以て否決したので愈々議長不信任案の票決には入つた結果これを可決、左派の完全な敗北となつた、同案要旨左の通り

一、ガンジー指導の從來の政策を今後も踏襲する

一、ガンジーのみが國民會議派を指導し得るもので執行機關はガンジーの絕對信任を得るを要す

一、以上により議長は時機運用、委員任命に就きガンジーの希望に從ふことなはトリプラ會議は十二日夜を以て閉幕される予定であるが、敗北を喫したボース議長以下左派の態度が重視されてゐる

印度國民會議

滿ソ軍衝突 不法越境止まず

（新京十二日）十二日朝約七十名のソ聯兵が又もや東部國境拜陽附近で八十米ほど越境したつて戰闘の後ソ聯軍を完全に撃退敵に相當の損害を與へたので、我が方は止むなくこれに來り同所を不法占據したのである、殊に最近フランス政府が

深尾須磨子 獨伊訪問

（東京十三日）防共盟邦ドイツ、イタリーへ行く詩の親善使節女流詩人深尾須磨子女史は十三日午後一時文壇、詩壇その他の華やかな見送裡に東京驛を出發した、十六日神戸から鹿島丸で渡歐するがチアノ外相へ贈る有田外相署名入りの象徵寫眞を、小笠原長生氏からヒットラー、ムツソリーニ兩氏へのメツセージ、國際觀光局の日本觀光寫眞帖パンフレット、北原白秋氏からイターナ詩人クーニー氏に贈られる歌その他日獨伊親善協會を通じて御土產品をドツサリ託されてゐた

中華航空會社

北海北京線開設

（上海十三日）中華航空會社では十四日から上海北京間定期航空の正式營業を開始し北支中支を空路によつて繫ぐことになつた、新航空路は上海より南京、徐州、濟南、天津經由北京にいたるもので、上海南京間一日に往復發着時刻は上海發午前九時半、北京間百七十円である

サワラ沙漠に鐵道敷設

（パリー八日）フランス政府は陸軍參謀本部と同樣にアフリカにおける佛領植民地間を結ぶサハラ砂漠橫斷鐵道布設の件を目下支持檢討中である八日の下院における海軍委員會においても同樣にこの案を支持して居り多大の注目を引いてゐる

電波

▲印度が英國に去狀を突つける、國際狀勢險惡の今日英國常套手段の彈壓も出來つつある。聖州の野に滿つ棉すさりとて眼覺めた印度に布團も被せられず

▲歌洲丈けの政治險惡なら英國何んとか印度を彈壓するだらうが尤も險惡なのは亞細亞だ、此際支那から双手を引いて印度丈けを固める可く英國は日本と協調するか

▲闘爭ホルモンの末だ旺盛な英國なら新嘉坡埠で敗退を喰ひ留め得るだらうが、老衰は印度保持の手もふるつて居るが樣である

▲支那事變さんにお金を貸し出してゐる英さんは貸す者の弱味を暴露して居る

▲海軍々縮會議開催すべしの放送を米英がはじめて居る豪語するものは昔から我慢がないのである。デモクヤシイ事である

▲太平洋に日本のより倍量の軍艦を泛べ得ても米國と日本とは海戰に於て烏鷺戰の段違いと同じことを覺つた時米國は眞の海軍々縮を自覺的にやり布哇の軍港を撤廢するだらう

▲英國も自國海軍人の眞の力を認識した時海軍々縮會議を叫ぶ前に香港とシンガポール軍港を撤廢するだらう

▲白哲人種が眞に偉いのなら黃色人種を其剩まれる領土から閉め出さぬが平和だつた

▲亞細亞と南洋に於ては嫌ゐでも黃色人種の自由移住權を認めねばならぬ時代が來てゐる

▲今や黃色人種が朗らかに哄笑微笑する時代に入つた

▲聖州の野に滿つ垂穗の稻が大和民族の手にかう入れられつつある。聖州の野に滿つ棉花が大和民族の手に摘み穫られつつある。大和乙女の唄聲が流れる「おお清朗の朝雲に」と桃色の棉の花の露が大地にこぼれる

大阪商船 着發廣告

日本へ
北米經由 ぶえのす丸 サントス發 三月廿八日 横濱 着 五月拾二日
南阿經由 あふりか丸 サントス發 四月六日 神戸 着 五月廿一日

日本より
ケープタウンより さんとす丸 神戸發 二月廿六日 サントス着 四月十三日
ブエノスより あふりか丸 神戸發 一月廿一日 サントス着 四月四日

サントス 伯剌西爾大阪商船會社 (Soc. de Navegação Osaka do Brasil Ltda) Rua Cidade de Toledo, 31 SANTOS
聖市 伯剌西爾大阪商船會社出張所 Sóc. de Nav. Osaka do Brasil Ltda) Filial de S. paulo Rua da Quitanda, 35 São paulo
オ リ ア Wilson Sons & Co. Ltdo. Avenida Rio Branco 37

詳細は下記代理店へ又は弊社へ

急募 數名 少年 聖州新報社

急募 二名 集金人 保証人又は保証金を要す委細面談の上 聖州新報社

ピエダーデ、ジユキア 乘合自動車開通

三月より待望のピエダーデ、ジユキア間乘合自動車開通致し諸彦の御利用を御待ち申居候

★サンパウロ、ピエダーデ乘合自動車連絡

⊙往 ピエダーデ(午二時半發)→ピラ、サンタカタリーナ→ピラ、プリンセーザ、イザベル→リオ、プランコ→カベラドボルト→ジユキア町(午后三時半着)

⊙復 ジユキア町(午前七時發)→往線に同じ→ピエダーデ(午前十時着)

★乘車賃

ピエダーデ→ジユキア町 十二錢
往 ピエダーデ→サンタ、カタリーナ 廿二錢
復 サンタ、カタリーナ→プリンセ、ザイザベル 四錢
サンタ、カタリーナ→カベラドボルト 三錢
プリンセ、ザイザベル→カベラドボルト 二錢
カベラドボルト→ジユキア町 二錢五百

サンパウロ市 サンタ、カタリーナ植民地事務所
聖市 青木事務所氣付
Largo 7 de Setembro, 4 - Tel. 2-1056

品質本位 美味しく滋養の薄利多売 良くきく醬油
黑島印醬油
北西線プロミソン驛前 醸造人 黑島曾平治

新築落成の當館は御料理も一層吟味致し華客本位をモットーとしてサービス仕りますれば何卒御試宿下さいます樣御願申上ます
福助旅館 バール
館主 笠井善太郎
リンス市本通り

外交員募集 (定給と歩合を支給) (至急入用)
御希望の方は御來社を乞ふ
面會時間 午前八時—十一時 午後一時—五時
Rua São Bento N. 39 - sob
Telephone, 3-3255 - São Paulo

YAMASHITA LINE
山下汽船株式會社
極東・南米・定期航路使用船 優秀新型噸數豪華貨物船
山里丸 山風丸 山月丸 往5月1日 復5月1日
山霧丸 往3月29日 復4月20日 山浦丸 往5月21日 山彦丸
詳細は下記弊社代理店にお問合せ下され度し
貨物船に付き旅客運送は午勝手御斷申上候
サントス市 JOHNSON LINE AGENCIES Praça da Republica, 22 Telephones. 4694 e 5107 = Santos
聖市 L. FIGUEIREDO & CIA. Rua Libero Badaró, 92 = Phone, 2-7125 = São Paulo

O BOLDOPHYL
怠ける肝臟は人間を老人にします
腸の順調に働かない事ほど健康を害するものはありません！
"ボルドフィール"は
それを順調に働くやうに研究された藥であります
肝臟病と結腸炎と便秘を癒べる藥ボルドフィールを是非お試し下さい。
Laboratorio YPIRANGA
Rua Sto. Antonio 47

Dr. Alarico Franco Caiuby
ADVOGADO
Tsuguo Kishimoto
TRADUTOR PUBLICO
Escritorio - R. José Bonifacio, 233 3 Land. Tel. 2-1137 C. Postal, 1124 São Paulo

經濟手帳・歸化・遺產相續・營業登錄・刑事・民事・警察事項・內外諸官廳手續等凡て法律事務に關し誠意以て御相談に應ず
岸本法律相談所
顧問 ドットル、アラリコ・ワランコ・カユビー
聲譯人 岸本次男
聖市ジョゼ・ボエフアシオ二三三 三階三〇—三二號室 電話二—一一三七 自宅 電話三—九二四七

銃後の務めは先づ是から
皆んな成らう・赤十字社員
母國と伯國・聯けつ保持の一途

既報、東亞新秩序建設の聖戰下に目覺しい活動を續けてゐる日本赤十字社の特別社員—早尾領事が社員の資格を以て昨年明治節をトし管下數十名の知人有志其の他に對し入社勸誘狀を發しその後援を求めたところ時節柄地方的にも色々の事情がある際にも拘らず各地迎へ短期間に數十名の申込書を得た所同社のサンパウロ特別委員部長たる坂根總領事もこの度東京本社よりの入社勸誘依頼に接し左の如き依頼通知を各地各方面に發し在伯二十万同胞の赤誠にうつたえ同委員部の構成を鞏固ならしむることとなつた

通知

日本赤十字社サンパウロ特別委員部長　坂根準三

帝國が東亞恒久平和確立の爲敢然鋒を執りてより早くも一年有半聖戰既に第二階段に入り現下の複雑なる國際情勢下に於て祖國日本の雄姿愈々燦然たるもの有之に鑑み在留同胞各位に於せられても屑一層の御活躍を期せらるべきは勿論の義なると共に母國朝野各方面と此の際更に緊密なる聯繋を保持する樣努力すべきこと海外在留者として正に當然の責務と思考せらる就ては茲に右具体化の一方途として既に結成を見居る日本赤十字社

一、正社員
正社員は年貯金三円以上を収むるものとす、年貯金は十ケ年を一期とし、一期を完了したるもの又は一時金五円以上を収めたるものは終身社員とす

二、特別社員
特別社員は本社の事業又は社資を幇助したるの功を以て常議會の議決により推選したるものとす

三、名譽會員
名譽會員は常務會の議決により推薦したるものとす

尚同社の社員は左の三種とす

昭和十四年三月

◎◎◎

Noticias DE S. Paulo
Primeiro Diario Nipponico Publicado no Brasil
DARIO P. ALMEIDA
DIRECTOR
ROCRO KOWYAMA
PROPRIETARIO
Caixa Postal, 2765
Telephone 2-5655
Rua Assembléa No, 54
SÃO PAULO-BRASIL
ASSIGNATURAS
Anno - - - - - 60$000
Semestre - - - 30$000
Numero do dia - - $500
Exterior, anno - 120$000

短篇小説

耕地の鐘

（完）

長友安德

「とに角けい司君歸つてくれ給へ、君が出て行つた後の西澤さんの家の事を考へてみてくれ……眞里子さんと延雄君が可愛想ぢやないか……それに一ケ年の耕地の契約の義務も未だ終つてゐない筈だ……さあ今夜誰もこの事を知らないのが幸いだ眞里子さんと一諸に歸り給へ」

「はあ……」

春近し

加藤さんと修に諭されてけい司は悔悟した。明るい外に出たけい司と眞里子はしばらく沈默の儘歩んで居たが、けい司は眞里子に話しかけた

「眞里ちやん、貴女に心配かけてすまなかつたな……」

「あら――あんなことを謂はるんなお父さんと姉さんとそれから妾にあるんですわ……貴方こそ許してね」

「……」

けい司はそれに答へもせずさつき眞里子に書きおきした事を思ひ出して「眞里子はたしかあれを讀んだ筈だその書置きには自分の愛がうち明けてあつた、そう思ふと彼はいきなり近づいて彼女の右手を確かと握りしめた、彼の愛を知つた眞里子は、無言のまゝ顏を眺め返しながら、彼女は月の光にも知れる程あかく〳〵頰を深めて居た

◆

四、五、六、七、八月の五ケ月の間かかつた長いコーヒ採取も終へて九月から散しが始つた

西澤さんは美穂子を賣つた金で借金を拂つてこの耕地を出耕しようと思つてゐた五百圓の金は設にビンガ代や色々の事に使つてしまつて手許にはほんの僅かばかりの金しか殘つてゐない、美穂子の嫁いで行つた秋山の家に度々西澤さ家から返んは出かけて行つて金を催促したが、それつきり秋山は金は渡さなかつた

どんな賛澤をもして遊んで暮せると思つて嫁いだ美ほ子は全く當がはづれ、朝は暗い内から起きて働かされた。三コント渡したと云つた金も眞赤な嘘で實は金、金、金で働き食ふ物も食はず金貯め主義で働く秋山の家だといふ事を知つた

ある日西澤さんは監督の加藤さんを頼んで美ほ子を秋山の家から返してもらふやうにと秋山の家に出かけた

「ぢや西澤さん前に私が渡した五百圓の金を返して下されば美ほ子さんを返してもげます」

これが秋山の言ひ分だつた、西澤さんにどうしてこんな大金ができるはずがあらう

「秋山さん貴方はそんなことを云はれるが美ほ子さんを元の姿にして返してくれますか、そしたら私できその位の金は立替へてやります」

かう言つた加藤さんの言葉に秋山はグツともいふ事が出來なかつた

◆

美ほ子はこの醜れる結婚に、今は悔いて秋山の家から歸つてきた

美ほ子はけい司と眞里子との仲を知ると「もう妾はけい司さんと結婚出來る身ではない清い二人の仲を破壞してはならない、そうだ自分は早く身の始末をつけなければ」と決心した

それから間もなく加藤さんの媒介で耕地のすぐ近くに最新奥さんを亡くしてゐる古川といつても四十近い人に美ほ子は淋しく嫁いで行つた

美ほ子がこの人に嫁いだので西澤の家も耕地の借金も支拂つてもらひ、古川の隣で借地して棉作に從事することになつた

西澤さんもけい司と眞里子の結婚を許し一年後に式をあげる事に決つた

◆

けい司達が努力して作つた棉の出來栄えはすばらしいものだつた、四アルケールの畑に八百アローバの収穫をして全部十八圓の高價で賣却したこれも元を云へば美ほ子が古川の家に嫁いだからと言つてもよかつた

「あら――あんなことを謂はるんなお父さんと姉さんとそれから妾にあるんですわ……貴方こそ許してね」

「……」

けい司はそれに答へもせずさつき眞里子に書きおきした事を思ひ出して「眞里子はたしかあれを讀んだ筈だその書置きには自分の愛がうち明けてあつた、そう思ふと彼はいきなり近づいて彼女の右手を確かと握りしめた、彼の愛を知つた眞里子は、無言のまゝ顏を眺め返しながら、彼女は月の光にも知れる程あかく〳〵頰を深めて居た

◆

四、五、六、七、八月の五ケ月の間かかつた長いコーヒ採取も終へて九月から散しが始つた

西澤さんは美穂子を賣つた金で借金を拂つてこの耕地を出耕しようと思つてゐた五百圓の金は設にビンガ代や色々の事に使つてしまつて手許にはほんの僅かばかりの金しか殘つてゐない、美穂子の嫁いで行つた秋山の家に度々西澤さ家から返んは出かけて行つて金を催促したが、それつきり秋山は金は渡さなかつた

どんな賛澤をもして遊んで暮せると思つて嫁いだ美ほ子はせると思つて嫁いだ美ほ子は全く當がはづれ、朝は暗い内から起きて働かされた。三コント渡したと云つた金も眞赤な嘘で實は金、金、金で働き食ふ物も食はず金貯め主義で働く秋山の家だといふ事を知つ